



# 相 高

## 理数科通信

春号



令和3年4月30日(金)  
福島県立相馬高等学校

### 入学おめでとう

◎入学式

令和3年4月8日(木) 本校第一体育館

学校長より、普通科108名、理数科40名、合計148名の入学が許可されました。学校長より、高校生活では、目標を定めることが重要であり、また人との出会いを大切にしたいとの式辞がありました。その後、入学生代表が、校訓『至誠』のもと、責任ある行動を心がけ、勉学や部活動に励むとの宣誓が行われました。



実は、第一体育館は、2月の地震により、ガラス窓や照明器具が破損して、被害が大きかったです。ガラス破片や雨水が入り込み、使用不可能な状態でした。前日までに、運動部の生徒たちがガラスの破片などを1つ1つ掃除をして、なんとか入学式に間に合わせてくれました。そんな先輩方への感謝を忘れずにして欲しいと思います。



### 2年生の課題研究

令和3年4月16日(金)

2年生は、いよいよ課題研究が始まりました。この日は、テーマ選定のための情報集めをPC室で行いました。

今年の担当は、西山先生(化学)、松岡先生(物理)、今野先生(物理)、鈴木智先生(化学)、伏見先生(数学)の5名となります。7月頃に研究のテーマと進行状況を発表し、来年2月に課題研究発表会を行う予定です。



### 卒業生の進路状況

令和2年度理数科卒業生の大学入試結果をまとめました。共通テストに代わり、初めて受験する学年でした。そして、コロナウイルスによる感染予防のための入試変更などもあり、大変な入試でしたが、よく頑張ってくれました。

#### 《国立大学》

東北大学、千葉大学、山形大学4、福島大学2、茨城大学、信州大学

#### 《公立大学》

福島県立医科大学3(内、医1)、会津大学2、宮城大学、岩手県立大学、埼玉県立大学、滋賀県立大学

#### 《おもな私立大学》※のべ人数

早稲田大学、東京理科大学、法政大学、芝浦工業大学、北里大学など  
東北学院大学8、東北福祉大学5、東北工業大学9など



令和3年度

理数科メンバー

◎岡島 ○馬場 松岡、猪股

1年 鈴木智、草野

2年 西山

3年 中川、鈴木千

## 学校長より

### 「夢を持って思い続けよう」 瓜生康弘



皆さんは今どんな夢を持っているでしょうか。将来は医師や看護師、教員や公務員、はたまたプロスポーツ選手になりたいという人もいるでしょうか。今夢を持っている人は、是非その夢に向かって精一杯努力して行ってほしいと思います。まだ夢を持っていないという人がいたら、どんな夢でもいいので早く自分の夢を思い描いてください。

夢を諦めずに思い続けていればいつかは叶うということを証明している人がいます。北海道にある町工場の社長をしている植松努さんという方です。しばらく前に、リアル下町ロケットということでテレビでも取り上げられましたので、知っている人もいると思います。その会社はリサイクル工場などで利用されるクレーン用の小型マグネットの製造を本業としていますが、それとは別に、ホームセンターなどで手に入れられる安い材料を使って人口衛星の製造やロケットの開発を会社全体で行っていて、NASAやJAXAなど世界中から注目され多くの方が視察に訪れています。また、世界に3台しかないという、ほぼ無重力の状態を再現する実験装置を自前で作ったことから、全国各地の大学やJAXAから実験のために訪れる人が多いということです。社員はわずか20人しかいませんが、その中には、宇宙開発の仕事をするためには、大学に進学してから企業に就職するよりも、高卒でその会社に就職した方が得と考えて入社した人もいます。

植松さんは小学生の時から飛行機やロケットに興味を持ち、紙飛行機の製作や研究に夢中になって取り組んでいて、将来は飛行機やロケットの仕事がしたいという自分の夢を話すと、学校の勉強は余りしていなかったため、周囲からは「どうせ無理」と言われていたそうです。工業大学を卒業後、航空機設計の会社に入り何年か働きましたが、自分が思い描いていたような仕事ができなかったため、退職して父親が行っていた電気機械修理業の会社を継いで、現在の会社まで発展させてきました。途中で会社が倒産の危機に見舞われましたが、以前勤めていた会社での経験が役に立ち何とか乗り越え、その後、小さい頃からの夢だったロケット開発を、周囲の反対を押し切ってついに実現させたということです。

夢というと、何となく実現が難しそうな大きなものや、将来就きたい職業ばかりをイメージしがちですが、植松さんは、自分が好きなことや、やってみたいことなら、どんな小さなものでも大きなものでもよくて、夢はたくさん持った方がよいと言っています。一方、仕事というものは人や社会の役に立つということなので、夢と仕事が一致する必要はないと言っています。そして、いつか夢を叶えるためには、諦めずに挑戦していくことが大切なわけですが、人間はやったことがないことに取り組みば大体失敗することになります。しかし、失敗は次に再挑戦するときに前回よりも良い結果を出すためのデータとなるものなので、そう思えば失敗しても、小さいながらも自信が湧いてきて更に夢に向かって進んでいくことができますと言っています。

また、植松さんは小学生のときの体験を通して一番強く感じたこととして、人が自分の夢について話をしたときに、それをやったこともない人間が「できるわけない、どうせ無理」と言えるはずはないので、そうではなく、「だったら、こうしてみたら」という励ましの言葉を言ってあげると、その人は元気が出て夢に向かって進んでいけるということを強調しています。生徒の皆さんも、是非夢をたくさん持って、それを思い続けて行動し、失敗を繰り返しながら自信を持って毎日の生活を送って行ってほしいと思います。

## 各種募集

体験こそが、力になる！  
行動しよう！

※応募したい生徒は理科教員室へ

日本生物学 2021  
オリンピック  
申込受付期間  
2021/5/1 - 31



科学者の卵  
養成講座

東北大学 『科学者の卵養成講座』  
高校1・2年生対象 5月14日締め  
※申し込みたい者は、事前に相談に乗り  
ますので、4月中に理科教員室まで

### 第17回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2021

参加の流れ

参加申込み  
参加手続は、3月下旬からホームページまたは募集要項で案内します。参加申込み受付期間は、以下の通りです。  
申込：2021年4月1日(水)～5月21日(金)  
Web：2021年4月1日(水)～5月31日(月)

第1チャレンジ  
「実験課題レポート」と「理論課題コンテスト」にチャレンジします。  
●実験課題レポート  
2021年6月14日(月)提出締切  
※印刷費 実験課題(500円)  
●理論課題コンテスト  
2021年7月11日(日)  
全国一斉 90分間  
参加費：2,000円

第1チャレンジ実験課題  
加える力と物体の運動の関係を調べてみよう  
物体に力を加えると運動のようすが変わります。力と運動の関係を調べるための実験を考えて実施しましょう。力の大きさや速度の変化の関係および質量と速度の変化の関係を見つけてください。摩擦の影響や物体の大きさや形状なども考慮して考察をしましょう。独創的な実験を期待しています。